中学校　技術・家庭科　技術分野　年間指導計画

＊生物育成に関する技術を２年で学習する場合その他の例は資料編p.128、129を参照
＊情報に関する技術を３学年に分けて学習する場合その他の例は資料編p.128、129を参照

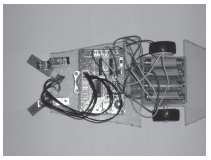
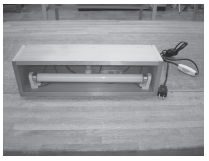
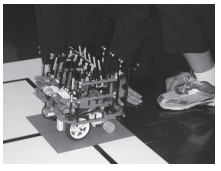
1年

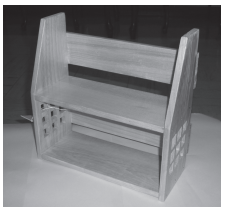
時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
学習題材（時数）	①技術って何だろう？ (5) p.56					②材料の特徴やその利用方法を知ろう (6) p.57						③構想をまとめ、図に表現しよう (6) p.58					
学習指導要領の事項	A（1）アイ					A（2）アイ						A（3）アイ					
指導内容	ガイダンス ・技術が生活の向上に果たしている役割 ・技術の進展と環境					材料と加工法 ・材料の種類や特徴 ・材料の利用方法 ・材料に適した加工法 ・工具や機器の安全						設計 ・目的と条件の明確化 ・材料の検討と選択 ・構造の検討 材料の使い方、組合わせ方 接合の仕方 ・機能の検討 形状、寸法、使いやすさ等 ・いろいろな製作図 ・構想の表示方法の選択 ・製作図をかく					

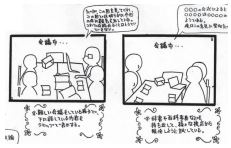
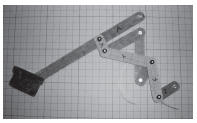
2年

時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
学習題材（時数）	⑨情報通信ネットワークを知ろう (5) p.64								⑪ディジタル作品を作ろう (9) p.66								
学習指導要領の事項	D（1）アイエ								D（2）アイ								
指導内容	情報通信ネットワーク ・コンピュータの構成 ・情報処理の仕組み ・情報ネットワークの構成と安全 評価と活用 ・情報に関する技術の適切な評価・活用								ディジタル作品の設計・制作 ・メディアの特徴と利用方法 ・複合方法 ・制作品の設計 ・ディジタル化の方法 ・ディジタル作品の制作							
学習題材（時数）	⑦生物の育成をしてみよう (5) p.62								⑧緑化できる生物を育てよう (7) p.63								
学習指導要領の事項	C（1）ア								C（2）ア・C（1）イ								
指導内容	生物の育成環境と育成技術およびそれを利用した栽培・育成 生物育成の条件と管理 ・生物の育成に適する条件 ・育成環境の管理方法 目的・条件に応じた栽培計画								栽培計画を立てる ・生物の管理方法 ・作業法、資材、用具、設備 ・病気や害虫等への対処 ・目的・条件に応じた栽培計画								

3年

時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
学習題材（時数）	⑥エネルギー変換を利用した製作品を作ろう (11) p.61											⑫ロボットを動かそう (6.5) p.67						
学習指導要領の事項	B（2）アイ・B（1）ウ											D（3）アイ						
指導内容	目的と条件の明確化 エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計 ・運動の仕組み ・機械要素 ・電気回路 ・材料と加工法 ・目的や条件にあった設計 エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の製作 ・組立て　・調整　・点検 評価と活用 ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用  											コンピュータを利用した計測・制御 ・計測・制御システムの構成 ・情報伝達方法 プログラムの作成 ・情報処理の手順 順次、分岐、反復 ・簡単なプログラムの作成 							

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
④目的や条件に応じた製作品を作ろう （13）p.59													⑩情報モラルを知ろう （5）p.65				
A（3）ウ・A（2）ウ													D（1）ウ				
材料と加工に関する技術を利用した製作品の製作 ・製作準備 ・材料取り ・部品加工 ・組立て ・接合 ・仕上げ 評価と活用 ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用 													情報モラル ・情報モラル ・情報発信の責任 ・著作権				

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
				⑤エネルギーはどうやって伝わるの？ （9）p.60													
				B（1）ア　イ													
				エネルギーの変換 ・変換・制御 回転運動を伝える仕組み いろいろな運動に変える仕組み ・リンク装置 ・カム装置 ・共通部品 									エネルギー変換技術を利用した機器 機器の仕組みと保守点検 電気製品の安全な使用方法と事故の防止				
生物の栽培													栽培記録とまとめ 評価と活用 ・生物育成に関する技術の適切な評価・活用				

指導時数	A 材料と加工に関する技術	B エネルギー変換に関する技術	C 生物育成に関する技術	D 情報に関する技術	計
	30 (5)	20	12	25.5	87.5

（　）はガイダンスの時間

【内容の対応表】

A（1）ア	A（1）イ	A（2）ア	A（2）イ	A（2）ウ	A（3）ア	A（3）イ	A（3）ウ
B（1）ア	B（1）イ	B（1）ウ	B（2）ア	B（2）イ			
C（1）ア	C（1）イ	C（2）ア					
D（1）ア	D（1）イ	D（1）ウ	D（1）エ	D（2）ア	D（2）イ	D（3）ア	D（3）イ

※すべての学習内容を履修させる。
※下線は「技術の適切な評価・活用」を示している。